



JREU TOKYO 業務部速報



2023.12.14 No.025

発行：JR東労組東京地本 業務部

東地申第5号 「埼京線の乗務員基地再編について」に関する説明申し入れ 団体交渉を行いました(その⑤)

8. 「大宮支社の現業機関における柔軟な働き方の更なる実現について」の提案と、それに伴う「埼京線の乗務員基地再編について」の提案の廃案が、埼京運輸区設立に及ぼす影響を示すこと。

(会社回答)現時点で、2022年9月に行った「埼京線の乗務員基地再編について」に関する提案内容を変更する考えはない。

(組合)大宮支社の大宮運輸区(仮称)の廃案が、職場にいる社員に迷惑をかけた認識はあるのか。

(会社)事実として大宮支社で廃案となったので、社員が不安に感じる事は実際に起こり得ると感じている。

(組合)修正回答は過去にあったが廃案はない。せっかく新しい職場が出来るのだが、正直上手くいっていないところもある。会社とすればその先に還元できるような、そのコストを乗り越える成果があると回答もあるが、結果論の話なので将来的な話は見えない。「廃案」の重さを一致したい。

(会社)事前の準備というものは行ってきたところであり、廃案というものが発生したのは事実である。そういったことがない様に、引き続き社内外含めて、環境の変化に柔軟に対応し、社員の皆さんが不安にならないような施策を行う考え方に変わりはない。

(組合)一度提案した施策の「廃案」は社員感情やコスト面からも重い事象である。と認識一致したことを確認する。

「当該職場である大宮車掌区、大宮運転区に所属する社員の不安を少しでも解消する」ことを一番の目的に据えて交渉を行いました。交渉実施にあたりご協力いただいた組合員、社員の皆さんありがとうございました。

JR 東労組東京地本は組合員、社員が働きやすい職場環境の整備に引き続き取り組んでまいります。

大宮車掌区、大宮運転区で働く組合員、社員の皆さん！！

支社間異動に対する抵抗感と不安は非常に大きいと思います。私たちはそれを一切否定いたしません。不安を共有し一緒に解決したいと考えています。

異動する皆さんが「施策の被害者」と感じないように、JR 東労組東京地本は全力で支えます。私たちの武器は仲間との団結です。そこに支社の壁はありません。

大宮地本と連携し、皆さんが安心して働ける埼京運輸区の実現を目指します！！